

学修成果の評価に関する基本方針（アセスメント・ポリシー）

足利大学では3つのポリシーに基づき、機関（大学）レベル、教育課程（学部）レベル、授業科目（教員・学生）レベルの3段階で学修成果等を計測し、年度末にFDを通じて教職員にフィードバックすることで、教育内容・方法及び学修指導の改善を図っています。

また、これらをもとにアドミッション・ポリシーを再検討しています。

レベル	区分	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー
機関レベル	大学	退学率・休学率	学位授与数 就職率
課程レベル	工学部	GPA・取得単位数 社会人基礎力アンケート 学生生活満足度調査 1週間の行動履歴	ディプロマ・ポリシーの達成度 就職先企業アンケート 卒業研究評価
	大学院	GPA・取得単位数	修士論文・博士論文評価 学会発表・学術論文
	看護学部	GPA・取得単位数 看護研究ゼミナール 学生生活満足度調査	看護師・保健師国家試験合格率 国家試験対策アンケート 養護教諭教員免許取得者数 就職病院アンケート 統合実習の評価
科目レベル	工学部	シラバス・授業評価アンケート	DP・教育目標・カリキュラムの関係性
	大学院	シラバス・科目取得状況（他専攻・研究者倫理）・成績評価・授業評価アンケート	DP・教育目標・カリキュラムの関係性
	看護学部	授業評価アンケート 領域実習の評価	卒業時達成目標とカリキュラムの関係性

網掛け分が4年間（大学院の場合は2年間）の学修成果をまとめたものとしています。